

☆地域協議会だより☆

平成29年度第7回地域協議会は、平成30年2月9日(金)午後2時から二ツ井伝承ホール洋室研修室で開催されました。案件は、二ツ井地域の現状と今後の対応に関する意見書」についての1件でした。概要は次のとおりです。

二ツ井地域の現状と今後の対応に関する意見書(案)

①「農業の振興について」

(1) 農業従事者の高齢化や後継者不足により、労働力が十分に確保できずに、耕作放棄される農地が増加しています。これら課題解決のため、積極的に農地の基盤整備に取組み、作業の効率化を図るとともに、農業法人設立に向けた取組として、農業経営指導経験のある人材を雇用し、二ツ井全域で農業基盤整備と法人化を一体的に推進できる体制づくりを進めること。

②「雇用の場の創出について」

(1) 合併以降、雇用の場の減少に伴い、市外への人口流出が進行する中、平成30年夏頃オープン予定の「道の駅ふたつ」を、地域活性化の起爆剤とし、新たな産業拠点として、地元雇用を創出する場とすること。

(2) 二ツ井地域には入所可能な福祉関連施設が少なく、結果として市外施設などに受け皿を求めざるを得ない状況です。高齢者や障がい者が住み慣れた地域で、安心して生活ができる受け皿づくりのため、二ツ井地域へ福祉関連の入所施設を整備し、雇用の場の創出に繋げること。



第7回地域協議会の様子

意見書(案)に対する主な意見

【地域協議会委員】
 淡路一義 伊藤 誠
 大高吉定 菊地チヨ子
 菊池敏幸 佐藤哲美
 鈴木伸樹 中村清二
 成田光博 畠山博嗣
 畠山美紀子 藤田清樹
 藤田千秋 藤田弘子
 吉岡正雄 (五十音順)

発行：二ツ井地域局
 総務企画課
 〒018-3192
 能代市二ツ井町字
 上台1-1
 電話 0185-73-2112

H30.3.23発行

- * 農業だけでなく、「農林業の振興」とし、林業の分野についても追加してほしい。「林業」に関する整備事業も精力的にやつてもらいたい。
- * 過去にも同じような取組をしていると思う。過去の取組に対する課題や反省点を洗い出し、課題解決にあたってほしい。
- * 農業の振興について。市の関連窓口を一つにまとめると、市民も分かり易く、法人化を一体的に推進できる体制も作りやすいと思う。
- * もつと若い人が魅力を感じるような具体的な産業を記載してもらいたい。
- * 雇用の場の創出について。道の駅ふたつは市から指定管理者に移るのであれば、地元雇用を「創出する場」という表現よりも「期待する」「拡大する」という表現に変えてはどうか。
- * 山間にある耕作放棄地を集約し、耕作地として組織的に進める。

* 林業の面では、ただ原木で出荷せず、育苗から生産、さらにテーブルや椅子などの付加価値をつけた製品づくりまで事業展開をしていきたいと思う。

* 意見書提出後の流れについて。当局側の「やる・やらない」をはっきりして欲しい。どちらにしても地域協議会への回答をいただきたい。

「言いつ放し・聞きつ放し」にならないようにお願いしたい。

↓審議の上、意見書案は承認。
 林業振興に関する意見を追加し、
 平成30年3月16日に齊藤市長へ提出。



この日が任期中最終の地域協議会でした。
 ～委員の皆様2年間ありがとうございました！～



※裏面は↓「意見書提出について」

二ツ井地域の課題解決に向け 意見書を市長に提出

吉岡会長から
齊藤市長へ

二ツ井地域の現状と 今後の対応について

平成30年3月16日（金）、地域協議会の吉岡正雄会長が、齊藤市長に「二ツ井地域の現状と今後の対応に関する意見書」を提出しました。意見書の内容は、以下のとおりです。

①「農林業の振興について」

（１）農業従事者の高齢化や後継者不足により、労働力が十分に確保できずに、耕作放棄される農地が増加しています。これら課題解決のため、積極的に農地の基盤整備に取り組み、作業の効率化を図るとともに、農業法人設立に向けた取組として、農業経営指導経験のある人材を雇用し、二ツ井地域で基盤整備と法人化を一体的に推進できる体制づくりを進めること。

②「雇用の場の創出について」

（２）林業従事者の高齢化や後継者不足に加え、森林施業の採算性が低いことにより、十分な森林整備が出来ず、荒廃が進む森林が増加しています。これら課題解決のため、林業専用道等の路網整備を推進し、森林施業の効率化を図り、地域産業の振興と林業の収益性向上に繋げること。

（１）合併以降、雇用の場の減少に伴い、市外への人口流出が進行する中、平成30年夏頃オープン予定の「道の駅ふたつ井」を、地域活性化の起爆剤とし、新たな産業拠点として、地元雇用を拡大する場とすること。

（２）二ツ井地域には入所可能な福祉関連施設が少なく、結果として市外施設などに受け皿を求めざるを得ない状況です。高齢者や障がい者が住み慣れた地域で、安心して生活ができる受け皿づくりのため、二ツ井地域へ福祉関連の入所施設を整備し、雇用の場の創出に繋げること。

平成30年3月16日

能代市長 齊藤 滋宣 様

地域協議会会長 吉岡 正雄

二ツ井地域の現状と今後の対応に関する意見書

当協議会は、二ツ井地域の現状と今後の対応について協議してきました。
これまでの協議を踏まえ、地方自治法第202条の7第1項及び地域自治区の設置に関する条例第9条第1項の規定に基づき、別紙のとおり意見書を提出します。



意見書提出の様子



提出した意見書(表紙)